

平成 26 年度決算に係る
定期監査調書

平成 27 年 4 月

農林水産部 水産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5 頁
11	不納欠損額調べ	5 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
18-2	船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	事業別予算執行状況調べ	14 頁
23	生産物（品）に関する調べ	14 頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	15 頁
25	船舶運航調べ	16 頁
26	用船の状況調べ	17 頁
○	意見、要望等	17 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
故障等により使用できない物品は速やかに売却や棄却等の処分方針を決定し、その実施に必要な費用は予算化するなど、適切に処分の手続きを行われたい。 対象物品：人工衛星画像解析装置 S63年取得 5,980千円	平成27年1月26日 不用品処分・決定伺
	平成27年2月6日 棄却処分に係る承認通知受領 (2月2日付)
	平成27年2月24日 棄却処分

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
水産試験場	管理担当	人事管理、予算・決算事務
	漁場開発室	海洋環境、漁労及び水産資源等についての試験研究及び調査に関すること。
	海洋資源室	〃
	試験船第一鳥取丸	〃

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)


種 別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
定 員	1	1	17	17	0	0	18	18	
現 員	() 1	() 1	() 17	() 17	() 0	() 0	() 18	() 18	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	2	2	1	1	4	4	事務 1名、運転士 1名 調査・研究補助 2名

5 役付職員の調べ

(平成27年4月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
		年 月	
場 長	下山 俊一	3	
課長補佐	松本 薫	0	出納員
漁場開発室長	石原 幸雄	4	勤務期間：9年
海洋資源室長	清家 裕	0	
船長（第一鳥取丸）	森脇 誠	4	
機関長（第一鳥取丸）	松尾 敏幸	1	勤務期間：2年

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>浮魚資源変動調査</p> <p>決算額見込額 11,674千円(1,486)</p> <p>※()内は当該試験に係る額</p> <p>(財源内訳) 一般財源 4,403千円</p> <p>その他 7,271千円</p>	<p>マアジ・マイワシ資源の変動を予測するための仔稚魚採集調査について</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の漁業生産は境港のまき網漁業によって水揚げされる、アジ、サバ、イワシ類などの海の表面を泳ぐ「浮魚(うきうお)」の依存度するところが大きい。この浮魚資源は、周期的に大きく変動するため漁業者、流通・加工業者等は、水揚量・魚種等に応じ臨機応変な対応を迫られている。これら関係者に浮魚資源の変動情報を提供するとともに、資源を守りながら安定的に漁獲していく上で必要な資源管理方策を提言するために市場での水揚物の調査や試験船第一鳥取丸を用いた洋上調査などを実施した。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>マアジ加入量(生物資源の新規増加量)調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一鳥取丸により、採集用ひき網(中層トロール網)を用いてマアジ幼魚(約4cm)を採集し、本年の幼魚の加入量の予測推定を行った。国の水産総合研究センター(西海区・日本海区水産研究所)及び島根県と共同で実施した。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、増加の兆候がみえるマイワシ資源の動向を把握するための調査の予備的調査として、第一鳥取丸により採集用ひき網(ニューストーンネット)を用いたマイワシ仔魚(約2cm)の採集を実施した。
<p></p> <p>採集用ひき網 (ニューストーンネット) 網部長さ 約3.5m</p>	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>マアジ加入量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24、25年度の調査結果を踏まえ、マイワシニューストーン調査地点を4、5月調査と同じ8地点に限定して実施し省力化に努めた。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海から日本海沿岸を流れる対馬暖流域における広域的なマイワシ資源の動向を把握するために、参画機関(参画機関:水産総合研究センター(本部・西海区・日本海区水産研究所)、島根県、鳥取県、富山県)の連携を図るため、検討会を年2回開催した。
	<p>ウ 成果</p> <p>マアジ加入量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マアジ幼魚の加入量を示す指数は調査開始以来、最高の値を示し、夏以降に平年より多くマアジが水揚げされると予測された。8月に解析結果を公表するとともに境港地区で漁業者、流通・加工業者等を対象に報告会を開催した。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度のマイワシシラスの採集個体数は、前年度と比べると大幅に減少した。平成26年はマイワシが不漁であり、産卵親魚が極めて少なかったことを反映している。
	<p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイワシ仔魚調査において隠岐海峡周辺が産卵海域であると考えられるが、詳細な産卵海域と移動経路の解明のために、マイワシ仔魚のふ化後日数(水研センター担当)とそれまでの潮流による移動を計算し産卵場を特定することが必要である。

事業名	概要	要
<p>底魚資源変動調査</p> <p>決算見込額 15,398千円(226)</p> <p>※()内は当該試験に係る額</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 10,456千円</p> <p>その他 4,941千円</p> <p>財産収入 1千円</p>	<p>底魚資源変動調査のうちズワイガニ資源回復のための投棄ガニの実態把握と混獲回避漁具試験について</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ズワイガニは沖合底びき網の水揚金額約40億円の半分を占める最重要魚種であり、また、「蟹取県」に代表されるように観光資源としても重要な位置を占めている。 ところが、水産試験場の調査では、ズワイガニの資源量は今後数年は減少傾向となり、特に単価の高い大型松葉ガニの減少が予想されている。 ズワイガニの資源回復を図り沖底の経営を持続させるため、鳥取県沖合底曳網漁業協会は親がに及びミズガニの漁期短縮及び改良網の導入による漁獲努力量の削減を行っている。 これらの対策の適用実態及び効果を調査して解明することにより、資源回復の推進を図る。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月より鳥取県籍船28隻中13隻を選定し、ズワイガニの混獲投棄量を報告するよう依頼した。平成26年も調査を継続した。 <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 混獲回避漁具による資源保護効果を試算した。 混獲回避漁具を普及させるため漁業者説明会(平成26年8.10月:賀露地区、網代地区、田後地区)を開催した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取及び兵庫の沖底船による雄の推定混獲死亡量を推定したところ、年間の死亡量は538.7トンでズワイガニの水揚量の47%に相当すると推定され、資源的にも経済的にも不合理と言わざるを得ない。混獲投棄の軽減が資源回復にとって有効な手段である。 24年9月1日～11月5日までの使用網別の投棄尾数を調べたところ、通常使用している8～9.5節の改良網では22.4～32.6尾であるのに対し、8節の改良網では7.6尾と66～77%軽減されることから、改良網の導入によって資源回復が期待できることが分かった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ズワイガニの資源減少に伴い今後は漁獲量の減少が予想される。 H26年漁期から改良網が全船導入となったが、H24漁期の改良網の利用率は3%と低いので、市場調査、沖底総会、役員会等で積極的な利用を漁業者に働きかけていく。当該改良漁具でもカレイの大幅な漁獲の減少がないこと、ズワイガニの資源保護につながることで、及び改良網導入のための行政支援策も制度化されていることを納得してもらい、一日でも早い改良漁具導入を実現すべきである。 	

7 収入証紙取扱費調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成26年12月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	電柱用地使用料ほか	4	114,790	114,790	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		駐車場使用料	329	329,000	329,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
		計(節)	333	443,790	443,790	0	0	公有財産事務取扱要領	
	目計		333	443,790	443,790	0	0		
	合計		333	443,790	443,790	0	0		

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成26年12月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
受託事業	水産総合研究センター受託事業収入		4	19,363,720	19,363,720	0	0		
		漁港漁場漁村研究所受託事業収入	1	849,000	0		849,000		27.2.9 収入済
収入		計(節)	5	20,212,720	19,363,720	0	849,000		
		目計	5	20,212,720	19,363,720	0	849,000		
雑入	雑入	広告掲載料	2	24,000	24,000	0	0		
		鳥取県無線漁業協同組合光熱水費	24	357,872	357,872	0	0		
		計(節)	26	381,872	381,872	0	0		
		目計	26	381,872	381,872	0	0		
		合計	31	20,594,592	19,745,592	0	849,000		

(6) 現金の取扱状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 該当なし

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

(4) 委託料

(平成26年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国単 単別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 年月日	金額		
水産試験場費	単県	冷暖房設備保守 守点検	三和商事(株)	2,661,750	(24.4.1) 2,362,500	24.4.1 ~27.3.31	24.3.28 (免除)	26.6.6 他	26.9.2 他	648,000	24~27の債務 負担	
水産試験場費	単県	水産海洋情報 処理システム 保守管理	応用技術(株)	734,400	(26.4.1) 734,400	26.4.1 ~27.3.31	26.3.25 (免除)	26.6.13 他			製作者以外 の保守は不可	
水産試験場費	単県	人工衛星画像 受信装置保守 管理	日本船用エ レクトロニクス (株)	982,800	(26.4.1) 982,800	26.4.1 ~27.3.31	26.3.25 (免除)				製作者以外 の保守は不可	
水産試験場費	単県	中海水産資源 生産力回復調 査	個人	単価契約 @30,000/1回	単価契約 @30,000/1回	26.4.18 ~27.3.31	26.4.16 (免除)		26.5.2 他	270,000		
水産試験場費	単県	潮流情報自動 提供システム 保守管理	(株) マスタ ーラボ	361,519	(26.4.1) 361,519	26.4.1 ~27.3.31	26.3.24 (免除)				製作者以外 の保守は不可	
水産試験場費	単県	ハマチ粗脂肪 測定	(財) 岡山県 健康づくり財 団	414,720	(26.10.15) 259,200	26.10.15 ~27.2.20	26.10.14				新規	

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金 額	
水産試験場費	単県	マイワシ耳石 酸素安定同位 体比分析	(独) 国立専 門学校機構茨 城工業高等専 門学校	888,000	(26.4.1) 888,000	26.4.1 ~27.3.20	26.4.1 (免除)		概	26.5.30	888,000	新規
水産試験場費	単県	船上脱血ク口 マグロ試験魚 作成	共和水産(株)	1,133,352	(26.6.20) 1,133,352	26.6.20 ~26.8.8	26.6.20 (免除)	26.7.9	精	26.7.25	340,200	新規 特定の者でな ければ納入で きないもの 納入
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」 機関監視装置 保守点検	(株)ジェー・ アール・シ ー・エス	307,800	()	~	(免除)		精			予定 製作者以外 の保守は不可
予定価格が20万 円未満のもの											871,585	
目計											2,146,200	
合計											3,017,785	

13 工事請負費調べ

(平成26年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	工事名	当初契約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請負人	支出状況			実地 完成 年月日 検査 年月日	変更 (解除) の理由 ・内容	備考
			起工年月日 設計額	契約年月日 契約額	工期			支出 区分	年月日	金額			
			(変更年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工期								
水産試験場 費	単県	「第一鳥取丸」 通常保守整備工 事	(26.8.22) 26,592,840 (26.1.15) 34,027,628	(26.9.16) 22,215,600 (26.12.17) 28,425,600	26.9.16 ~27.1.31 26.9.16 ~27.1.31	26.9.9 (免除) 指	新潟造船 株式会社	完				追加工事 が発生し たため	
目計													
合計													

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
了土地

(平成26年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政 財産		境港市竹内団地 107	5,025.22	99,499,356	H				H	5,025.22	99,499,356	
計			5,025.22	99,499,356						5,025.22	99,499,356	
普通 財産	(該当なし)				H				H			
計			0	0						0	0	
合計			5,025.22	99,499,356						5,025.22	99,499,356	

イ 建物

(平成26年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政 財産	庁舎	境港市竹内団地 107	1,395.90	202,152,530	増加	H			H	1,395.90	202,152,530		
					減少	H			H				
			340.00	19,597,250	増加	H			H		340.00	19,597,250	
計	車庫	境港市竹内団地 107	42.00	3,681,288	増加	H			H	42.00	3,681,288		
					減少	H			H				
計			1,777.9	225,431,068						1,777.9	225,431,068		
普通 財産	(該当なし)		0	0	増加	H			H				
計					減少	H			H				
合計			1,777.9	225,431,068						1,777.9	225,431,068		

ウ 山林

該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

（平成26年12月31日現在）

区 分	前年度末		本年度中の増減（△）			差 引	備 考
	取得年月日	数 量	年月日	数 量	取得又は処分価格		
船 舶	H9. 2. 27	(t) 199.00	-	-	-	(t) 199.00	第一鳥取丸
合 計		199.00				199.00	

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア） 異動状況

（平成26年12月31日現在）

区 分	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
特許権	1 件	0 件	0 件	1 件	
合 計	1	0	0	1	

（イ） 出願及び登録の状況

区 分	名 称	出願日	登録日	活用の有無
特許権	選別機能付き曳き網	H15. 3. 31	H19. 3. 9	無
出願中	0件	登 録	1件	

（ウ） 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

（2）金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

（平成26年12月31日現在）

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	円 30,920	円 14,000	円 27,569	円 17,351	
収入印紙	0	12,650	12,650	0	
合 計	30,920	26,650	40,219	17,351	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 了 土地

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	事務用地	境港市竹内団地107	107.00 ㎡	H21.4.1	H元.9.11	H21.4.1 ～ H31.3.31	丹番・年額 92,020	92,020	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合		
	鉄塔用地	"	93.00 ㎡	H26.4.1	H6.4.1	H26.4.1 ～ H31.3.31	丹番・年額 92,330	92,330	"		
	電柱設置用地	"	本柱1本 支線4条	H26.4.1	H6.4.1	H26.4.1 ～ H31.3.31	丹番・年額 7,500	6,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	年度 中途 8.1 建替	
計								211,933			
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0			
計								0			
合計								211,933			

イ 建物

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	アンテナ設置	境港市竹内団地107	0.0676 ㎡	H25.4.1	H20.2.12	H25.4.1 ～ H30.3.31	丹番・年額 15,960	15,960	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合		
計							月額・年額	15,960			
普通財産	(該当なし)							0			
計								0			
合計								15,960			

(2) 物品
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

了 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	境港市竹内団地107	12.50	1,000
普通財産	(該当なし)		

イ 異動状況

(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免	うち減免	うち減免			
4月	40人	4人	0人	3人	0人	39人	0人	36,000円		
5月	39	1	0	0	0	38	0	35,000		
6月	38	0	0	0	0	38	0	35,000		
7月	38	0	0	0	0	38	0	35,000		
8月	38	0	0	0	0	38	0	35,000		
9月	38	0	0	1	0	39	0	36,000		
10月	39	0	0	0	0	39	0	36,000		
11月	39	0	0	0	0	39	0	36,000		
12月	39	0	0	0	0	39	0	36,000		
1月	39							3,000		
2月								3,000		
3月								3,000		
合計								329,000	329,000円	0円

※鳥取県無線業協同組合の職員使用分(使用者6名、使用区画数3区画)については、4月に12ヶ月分を一括調定しており、全額が収納済。

1 8 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

1 8 - 2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

(平成26年12月31日現在)

船名	トン数	取得年月日	稼働日数 日	燃 料		修繕費等 円	左の主な内容 円	定係港又は船籍港	占用料 円
				消費量 ℓ	金額 円				
第一鳥取丸	199.00	H9.2.27	91	155,000	16,269,660	396,003	FAX修繕	境港	免除
計			91	155,000	16,269,660	396,003	197,640		

1 9 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

2 0 備品の処分状況調べ

(平成26年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格 円	不用決定年月日	不用とする理由	処 分				備考
							売却 売却の別	売却方法・売却理由	処分年月日	売却額・処分費用 円	
冷凍庫 東芝CR421-E2	1	H1.4.1	5年	100,000円	H26.5.8	故障	売却	故障かつ修繕不可のため	H26.5.20	19,440円	
冷凍庫 日立RS25-L	1	H1.4.1	5年	100,000円	H26.5.8	故障	売却	故障かつ修繕不可のため	H26.5.20		同時期に処分
合計											

2 1 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成26年12月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額 円	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
水温塩分センサー、保護フレーム	1	1,470,000 (931,000)	研究員 藤原大吾	H26.11.27	赤碕沖水深110m	海洋観測時ウインチで海底に垂下中ワイヤー側の接続金具からセンサー、フレームが離脱	H26.12.2	賠償責任無し
合計		1,470,000						

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成26年11月12日 ～ 平成26年11月14日	○有 ・無	船舶無線ファクシミリ プリンターキャノンLBP720 パーソナルコンピューター	1 1 1

2.2 事業別予算執行状況調べ

一般会計：現年

目 名	水産試験場費	(平成26年12月31日現在)	
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
天然ハマチ付加価値向上試験	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載
高品質クロマグロ生産試験	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載
船上一次加工技術開発試験	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載
海洋環境変動調査	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載
浮魚資源変動調査	6 24	主な事業に関する調べ 試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載 に記載
底魚資源変動調査	6 24	主な事業に関する調べ 試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載 に記載
中海水産資源生産力回復調査	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載
水産情報発信事業	24	試験研究調査事業別実施状況調べ	に記載

2.3 生産物(品)に関する調べ

(平成26年12月31日現在)

生産 部門	品名 種類	生産 計画 数量	生産数量			場内 使用	処 分 数 量						分 類 換	差 引 残	備 考	
			前年度か の繰	生産 購入	計		売 却		目的外使用		廃 棄	計				
							数量	金額	数量	金額		数量				金額
水産試 験場	スルメイカ	kg	kg	kg	kg	kg	kg	円	kg	円	kg	円				
	ハタハタ	0	0	31.0	31.0	31.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ズワイ	0	0	21.0	21.0	21.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ケンサキイカ	0	0	64.7	64.7	64.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	141.4	141.4	141.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※第一鳥取丸試験操業による測定物

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
天然ハマチ付加価値向上試験	26年度(単年) 円 (684,000) 168,953	海洋資源室	(単) ・加工するにあたり季節により脂ののりが変動し品質が安定しない天然ハマチの脂質含量を測定し、脂ののりに応じた加工品を試験開発するとともに、非破壊で数秒で脂質含量が測定できる測定器のソフトを作成する。	(成果) 月毎のサンプルを確保し脂質含量を測定中。結果が出したい脂質測定器のソフトを作成。また、鳥取県漁協で燻製の試作を実施し来年度中に販売を開始予定。 (課題) 夏季に脂質が低下するハマチの有効利用について検討する必要がある。
高品質クロマグロ生産試験	26年度(単年) 円 (1,862,000) 722,643	漁場開発室	(単) ・クロマグロを漁獲するまき網漁船の船上で、品質が良く簡易な方法で脱血したマグロを生産するための試験開発を行う。	(成果) 船上で鰓・内臓を除去したマグロが、色・味ともに最も良かった。水揚げ後の魚を吊してみたが血抜きは出来なかった。 (課題) 船上でマグロをおとなしくさせる技術の開発には至らなかった。また、現状では船上で脱血マグロを生産する本数に限りがある。(10本程度)
船上一次加工技術開発試験	25年度～ 円 (152,000) 0	海洋資源室	(単) ・沖合底びき網漁船での鮮魚一次加工を想定し、殺菌冷海水及びシャーベットアイスを活用した品質保持、衛生管理の徹底した一次加工技術の開発と超低温冷蔵庫による凍結・保管技術の開発を行う。	(成果) マダラは船上冷凍、ハタハタはシャーベットアイスで急速冷却することで鮮度を保持することができた。 (課題) 緩慢凍結の場合は鮮度が劣化するので、ブライン凍結を試みた。
海洋環境変動調査	18年度～ 円 (10,018,000) 6,505,552	海洋資源室	(委、単) ・海洋環境(水温等)の動向を把握し、漁業者へ迅速な情報提供を行う。 ・大型クラゲの来遊状況調査及び情報提供を行い、漁業被害を防止する。	(成果) 毎月、海洋観測を実施し、海況情報の提供及び予測を行った。 (課題) 観測データの多彩な解析により、漁況の予報などにさらに有効活用していく必要がある。
浮魚資源変動調査	20年度～ 円 (11,674,000) 8,233,320	漁場開発室	(委、単) ・浮魚(アジ、サバ、イワシ類、クロマグロ、イカ類)の資源状況を把握し、資源管理を推進するための管理方策検討の資料とする。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
底魚資源変動調査	20年度～ 円 (15,398,000) 10,927,920	海洋資源室	(補助、委、単) ・底魚(ハタハタ、カレイ類、ズワイガニ、ベニズワイ)の資源状況を把握し、資源管理を推進するための管理方策検討の資料とする。 ・ズワイガニの資源管理のために投棄ガニ(小型、漁期外)を把握する。	(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。 (成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
中海水産 資源生産 力回復調 査	24年度～ 円 (2,134,000) 648,082	海洋資源室	(単) ・ 国交省の中海の浅場造成水域（大崎地先）において、生物調査（マハゼ等の水産資源の育成場としての機能を評価）を実施する。 ・ 造成浅場を水産資源の生産の場として活用する方策を調査、検討する。	(成果) 造成浅場における水質、出現生物の季節変化等を把握した。竹を使った簡易増殖場では魚類の蛸集効果を確認することができた。
				(課題) 夏場の貧酸素水の流入メカニズムを解明し、貧酸素対策を施したアサリの増殖手法等を検討する。
水産情報 発信事業	13年度～ 円 (3,957,000) 2,838,418	漁場開発室	(単) ・ 漁海況情報（漁模様、水温等）及び試験操業・調査結果をわかりやすく提供する。	(成果) 大型ポスター（月1回）・海洋環境水産資源レポートの発行、漁海況連絡会議等の開催、イカ水揚情報の電話応答案内、沿岸潮流観測ブイの観測データ公開等を行った。
				(課題) より迅速で分かりやすい情報提供に努める。

2.5 船舶運航調べ

第一鳥取丸

(平成26年12月31日現在)

事業名	出航先	期 間		乗 船 者			備 考
		月 日 ～ 月 日	日 数	調 査 員	乗 務 員	そ の 他	
海洋環境変動調査	第1区	H26.4.7～H26.4.8	2	延人 2	延人 11	延人 0	
		H26.4.14～H26.4.15	2	2	11	0	
		H26.4.30～H26.5.2	3	0	11	0	
		H26.6.2～H26.6.4	3	1	11	0	
		H26.6.30～H27.7.4	5	1	11	0	
		H26.7.28～H26.7.29	2	1	10	0	
		H26.9.1～H26.9.3	3	1	11	0	
		H26.9.29～H26.9.30	2	1	10	0	
		H26.11.4～H26.11.6	3	1	11	0	
		H26.11.26～H26.11.28	3	2	10	0	
		小 計	28	12	107	0	
浮魚資源変動調査	第1区	H26.4.23～H26.4.24	2	1	11	0	
		H26.5.7～H26.5.8	2	1	11	1	
		H26.5.27～H26.5.30	4	1	11	0	
		H26.6.9～H26.6.11	3	1	9	0	
		H26.6.16～H26.6.19	4	1	11	0	
		H26.6.23～H26.6.26	4	1	11	4	
		H26.8.6～H26.8.8	3	1	11	0	
		H26.11.10～H26.11.12	3	1	11	0	
		H26.11.19～H26.11.20	2	1	11	0	
		小 計	27	9	97	5	

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
底魚資源変動調査	第1区	H26. 5. 13～H26. 5. 16	4	1	11	0	
		H26. 7. 14～H26. 7. 18	5	1	11	0	
		H26. 7. 22～H26. 7. 23	2	0	9	5	
		H26. 8. 18～H26. 8. 21	4	1	11	0	
		H26. 9. 8～H26. 9. 10	3	1	11	0	
		H26. 9. 16～H26. 9. 17	2	2	11	0	
		H26. 9. 18～H26. 9. 18	1	0	11	0	
		H26. 10. 1～H26. 10. 3	3	1	10	0	
		H26. 10. 8～H26. 10. 10	3	2	11	0	
		H26. 10. 15～H26. 10. 16	2	1	11	0	
		H26. 10. 20～H26. 10. 21	2	1	10	0	
		H26. 10. 28～H26. 10. 29	2	1	11	0	
	小計	33	12	128	5		
漁船安全講習 保守整備のための回航	第1区	H26. 8. 1～H26. 8. 1	1	0	10	0	
		H26. 12. 8～H26. 12. 9	2	0	11	0	
		小計	3	0	21	0	
合計			91	33	353	10	

2.6 用船の状況調べ

(平成26年12月31日現在)

事業名	調査内容	隻数	出航先	借上げ 延日数	金額(円)		備考
					計	使用料内訳	
中海水産資源生 産力回復調査	造成された 浅場における 出現生物 の季節変化 の把握等実 態調査	2	中海鳥取 県側沿岸	9	270,000	30,000円/日× 9日	3t未満 2隻
計		2		9	270,000		
合計		2		9	270,000		

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし